

平成 28 年度	社会教育部の取り組み実績
	<部の構成> 社会教育課、放課後子ども課、文化財課、スポーツ振興課、中央図書館

1. 重点施策・事業

(1) 社会教育の推進

重点施策・事業における目標	<p>子育てや親のあり方を考える家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ機会を提供する社会教育基礎講座等を通じて、生涯学習の一助となる、人が地域で生きていくために必要な知識や技術を提供し、学習する主体の形成を図ります。事業実施にあたっては、生涯学習市民センターと図書館の複合施設を所管する指定管理者との共催事業も企画するなど、民間のノウハウも取り入れた事業展開を図ります。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>暮らしに役立つ情報・知識を学ぶ「社会教育基礎講座」、家庭教育を支援する「思春期セミナー」「子育て応援・親学習講座」、父親の子育て参加促進のための講座等を開催します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：292 千円</p>
平成 28 年度の実績	<p>平成 28 年度は『地域でつながる』を共通テーマに設定し、社会教育基礎講座として「エンディングノート活用術」及び「自分らしい最期を考えるために～終末期医療について学ぶ～」の開催や、家庭教育支援事業として「子育て応援・親学習講座」、父親の子育て参加促進のための講座、親を考えるセミナー、思春期セミナーや北河内地区 PTA 協議会との共催で教育講演会を開催しました。</p> <p>平成 28 年度決算：304 千円（※補正予算等の対応あり）</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 留守家庭児童会室の施設整備

重点施策・事業における目標	<p>平成 29 年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行います。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>枚方、津田南児童会室の増築を実施します。また、男女別トイレ 18 か所を整備します。さらに香里、船橋、殿山第一児童会室の建替え（老朽化対策等）を実施します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：422,235 千円</p>

平成 28 年度の 実績	枚方、津田南児童会室の増築工事を終了し、枚方児童会室は平成 28 年 12 月 12 日に津田南児童会室は平成 29 年 4 月 1 日から供用を開始しました。また、男女別トイレ 18 か所の整備工事を終了しました。船橋児童会室の建替え工事を終了し、平成 28 年 9 月 12 日から供用を開始しました。殿山第一、香里児童会室の建替え工事を終了し、平成 29 年 4 月 1 日から供用を開始しました。 平成 28 年度決算：458,114 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（3）歴史文化遺産の保存・活用（①特別史跡百済寺跡再整備事業）

重点施策・事業 における目標	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後 40 年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	寺域北側の整備を完了し、中心伽藍の整備に取り掛かる予定で、まず、西面回廊の整備を行います。工事が完了した区域については、順次開放していきます。また、寺域外郭の東南部分の築地塀を立体復元するための設計のほか、文化財収蔵庫の解体工事を行います。 平成 28 年度当初予算：128,893 千円
平成 28 年度の 実績	11 月に文化財収蔵庫解体工事を実施しました。工事が完了した寺域北側部分を開放し、12 月には西面回廊の整備工事に着手し、南側の支障となる木の伐採及び堂塔院の造成を行いました。 築地塀の設計は、塀基底部の幅の確定のための追加の発掘調査や文化庁との協議を終え、築地塀の小屋組みについて検討しています。設計完了は時間を要し遅れています。 平成 28 年度決算：137,716 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

（4）歴史文化遺産の保存・活用（②旧田中家鋳物民俗資料館耐震・改修工事）

重点施策・事業 における目標	旧田中家鋳物民俗資料館は、大阪府有形文化財の田中家住宅鋳物工場と主屋を移築復原して資料館として昭和 59 年 10 月に開館しています。市有建築物耐震化実施計画に基づき耐震診断を行った結果、鋳物工場は補強工事が必要となりました。 来館者の安全及び文化財の保護のため、耐震補強を行うとともに、傷んだ部材の補修等の改修工事を実施します。(平成 28 年 10 月～平成 29 年 8 月予定)
-------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	壁の補強や、瓦の下の葺き土を除去し屋根の軽量化を図る工事を実施します。 また、主屋については耐震性を有していることを確認しましたが、屋根の劣化が著しいことから、屋根の葺替等の保全工事を行います。 平成 28 年度当初予算：67,800 千円
平成 28 年度の 実績	10 月 1 日から約 1 年間資料館を部分休館し、鋳物工場及び主屋を中心に工事を行い、予定通りの工程を完了しました。 平成 28 年度決算：57,540 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) スポーツ施策の推進

重点施策・事業 における目標	スポーツ・レクリエーションの普及振興並びに健康体力づくりや野外活動等の振興を総合的かつ計画的に推進するために、スポーツ基本法に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、計画に基づく各種スポーツ振興事業の展開を図ります。また、市内の大学に協力を求め、大学のスポーツ施設を本市のスポーツ振興に活用します。
平成 28 年度の 取り組み	①計画の策定にあたっては、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、スポーツ推進に関する多角的な調査審議を行います。 ②大阪国際大学枚方キャンパスにあるスポーツ施設を大学が利用されない区分において、本市のスポーツ振興事業に活用します。 平成 28 年度当初予算：8,347 千円
平成 28 年度の 実績	①平成 28 年度から新たに設置した枚方市スポーツ推進審議会からの答申をもとに、本市のスポーツ推進に向けた取り組みの基本的な方向性を示すスポーツ推進計画を 3 月 13 日に策定しました。 ②大阪国際大学と利用調整を行い、5 月 17 日から枚方市教育委員会が施設の使用を認める団体が使用を開始し、40 回の利用がありました。利用団体は、枚方市立杉中学校ラグビー部・枚方市ゲートボール協会・FC ティアモ枚方（連携協定団体）です。 平成 28 年度決算：6,033 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(6) 総合スポーツセンター駐車場の拡張整備

重点施策・事業 における目標	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図るため、現在の臨時駐車場用地を買い戻した上で第 2 駐車場として整備するとともに、送電線下用地を借り受け、臨時駐車場として整備します。
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	駐車場全体の整備に係る実施設計を行い、第 2 駐車場については用地の買い戻しを、臨時駐車場については整備工事を行います。 平成 28 年度当初予算：697,416 千円
平成 28 年度の 実績	第 2 駐車場用地 6,866.68 m ² のうち、平成 28 年度の取得分として 3,441.34 m ² を 8 月 29 日に取得しました。また、駐車場の整備に係る実施設計を行い、臨時駐車場の整備工事を行いました。 平成 28 年度決算：690,672 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(7) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入

重点施策・事業 における目標	サービス向上と効率的な管理運営のため、指定管理者制度を平成 28 年 4 月から蹉跎と牧野の生涯学習市民センターと図書館の複合 2 施設に導入し、その導入状況を検証して平成 30 年度の複合全 6 施設への指定管理者制度導入につなげます。
平成 28 年度の 取り組み	2 施設の導入状況について、モニタリングなどにより検証を行いながら、さらに効果的な図書館サービスの提供について検討し、平成 30 年度の 6 複合施設への導入に向けて準備を行います。 平成 28 年度当初予算：89,283 千円
平成 28 年度の 実績	複合 2 施設に総合窓口を設けるなど一体運営に努め、図書館の開館時間の拡大や書籍消毒機の設置等サービスを拡充し、利用が増加しました。また、利用者アンケートやモニタリング等による検証を行い、その結果を踏まえ、6 施設への制度導入に向けた準備を進めました。 平成 28 年度決算：89,283 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(8) 香里ヶ丘図書館の建替え事業

重点施策・事業 における目標	老朽化している香里ヶ丘図書館の建替えについての検討を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	香里ヶ丘図書館の建替えに向け、館の基本コンセプトや施設概要の検討、必要な什器類等を明らかにする整備基本構想を策定し、市議会や市民等への説明、意見聴取を進めていきます。
平成 28 年度の 実績	香里ヶ丘図書館建替え基本計画を策定しました。同計画策定作業の中で、市民への説明及び意見聴取を行いました。 平成 28 年度決算：870 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(9) 子どもに本を届ける事業の実施

重点施策・事業 における目標	広く市民等から不要本の寄贈を図書館で受付けます。寄贈された本は蔵書として活用する他、蔵書として適当でない本については売却し、ふるさと寄附金とあわせて基金に積み立てます。積み立てた基金の一部を毎年取り崩し、学校や保育所(園)、地域等に届ける本の購入を行い団体貸出等の手段で届けます。各施設では調べ学習や読み聞かせなどでの活用により、子どもたちの夢や希望、未来への考えなどを育みます。
平成 28 年度の 取り組み	子どもに届ける本の購入が促進できるよう、寄附金や寄贈図書の収集、その仕組みを充実させていきます。 平成 28 年度当初予算:3,500 千円
平成 28 年度の 実績	4 月から事業を開始し、古書、古紙の売却益として 55 万 6320 円、寄附金として 658 万 2865 円を受け入れました。 平成 28 年度決算:7,139 千円(※補正予算等の対応あり)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(10) 学校図書館支援事業

重点施策・事業 における目標	読書好きの子どもたちを育て子どもたちの学習活動を支援するため、学校図書館への学校司書の派遣等を行い、学校図書館支援を行います。
平成 28 年度の 取り組み	学校図書館への学校司書の派遣を 3 中学校区から 10 校区に拡大するとともに、平成 30 年度の全 19 中学校区への派遣拡大につなげていきます。あわせて、小中学校に対して調べ学習用図書の貸出、小学校への配本事業の充実、学校訪問おはなし会を実施します。また、図書館コンピュータシステムの更新に合わせて、市立図書館と学校図書館のオンライン化を行うことで、学校図書館のバックアップを行います。 平成 28 年度当初予算:31,502 千円
平成 28 年度の 実績	学校司書の派遣を 10 中学校区とし、また学校司書の活動を支援する学校図書館支援グループを増員して体制を整え、レイアウト変更等各学校図書館の充実に向けた取り組みを展開しています。9 月の図書館コンピュータシステム更新に合わせて、10 月から順次、各校のオンライン化に取り組みました。 平成 28 年度決算:26,628 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	平成 28 年度末までに、市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、事業の統合などの方針を決定する。その中で、電気使用料等の実費相当額の負担を求めていくことについても具体化を図り、平成 29 年度中の実施をめざす。
実績	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業の事業統合に向けて、諸課題について検討し、管理時間帯に関わらず施設開放事業を行うことを決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進 （〔公財〕枚方市文化財調査会のあり方他）	埋蔵文化財発掘調査の実施手法の見直しや、市史編纂・資料館学芸員業務を含めた専門的業務体制の整備について検討を行うなかで、(公財)枚方市文化財研究調査会のあり方について検討する。なお、(公財)枚方市体育協会については、「経営プラン」(H24～H28)に沿った運営が行われているか進捗管理を行うとともに、次期「経営プラン」策定に向け協議をすすめる。
実績	<p>本市において文化財研究調査会は、これまで埋蔵文化財調査だけでなく遺物復元整理や民俗文化財の収集整備、旧田中家鋳物民俗資料館の運営業務のほか、市民を対象とした文化財展示会や報告会などの啓発普及事業を実施し、文化財保護行政を補完する組織として重要な役割を果たしてきた。</p> <p>文化財行政を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の文化財行政の充実を図るために、組織体制のあり方について検討する。</p> <p>埋蔵文化財発掘調査の実施手法の見直しや、市史編纂・資料館学芸員業務を含めた専門的業務体制の整備について検討を行うなかで、調査会と行政との役割分担など調査会のあり方について検討する。</p> <p>平成 28 年度は、役割分担について調査会と協議、また組織体制について関係部署と検討を進めた。</p> <p>なお、公益財団法人枚方市体育協会では、枚方市での中核的な役割を果たし続け財政基盤を確立するため、「経営計画 2012」を策定し平成 24 年から 28 年度までの取組計画を示し運営を行ってきた。今年度は、次期「経営計画」の策定に向け、公益財団法人枚方市体育協会と経営改善に向けた取り組みについて協議を行った。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
37. 留守家庭児童会室の効率的・効果的な運用	留守家庭児童会室について、放課後児童対策の拡充とあわせて、NPO などとの協働、事業委託など他市での実施手法について検討を行う。
実績	留守家庭児童会室は、平成 29 年度に 5 年生まで、平成 30 年度には全学年の受入れとなることから、待機児童の発生の可能性があり、入室基準について明確化を図るとともに、事業の適正運営のため入室児童数に対応する施設及び人員の確保に努めた。施設の確保については、余裕教室の借用について、各小学校と協議・調整を行った。また、留守家庭児童会室と全児童を対象とした放課後対策の一体的な推進に向けた検討を進める中で、留守家庭児童会室の実施手法の見直しについても検討することとした。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
38. 野外活動センターの最適化	「学校キャンプ支援事業」を継続実施するとともに成果を検証し、センターを効率的かつ効果的に運営するため、利用実績等を分析して、利用者ニーズに即した施設の最適化を進める。
実績	学校キャンプ支援事業を実施し、延べ 31 校の利用があった（平成 27 年度と比較して 5 校増加）。現在、学校キャンプ支援事業の実施校及び施設利用者にアンケートを行っている。 また、進入路の舗装整備について、実施設計を行うとともに、地元協議を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
39. 図書館施設の効率的・効果的な運営	「枚方市立図書館第 3 次グランドビジョン」に基づき、分室や自動車文庫などの図書館施設について、施設配置の見直しを含めた、今後のあり方に関する方針策定に向けて、必要な検討を行う。
実績	地域密着型の特性を生かし、「地域住民の居場所としての機能の強化」の方向性を示すとともに、施設配置の検討と合わせて、平成 29 年 3 月に「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方(案)」を作成した。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	生涯学習市民センターと図書館の複合施設である 2 施設（蹊跼、牧野）に指定管理者制度を導入して、制度の運用状況の検証を行いながら、平成 30 年度の複合全 6 施設への制度導入に向けて、準備を進める。また、東部公園、市営テニスコート（藤阪東町・春日）について、指定管理者制度の導入をめざす。

実績	枚方市立生涯学習市民センター・図書館の複合施設のうち2施設（蹉跎・牧野）については、平成28年4月から指定管理者による管理運営を行った。また、平成29年度からの指定管理者制度の導入に向け、鏡伝池緑地及び市営テニスコート（藤阪東町中央公園、春日）について、新規導入手続きを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-2. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（留守家庭児童会室営繕業務）	営繕業務については、緊急性を要することが多く、迅速な対応が必要ですが、より効率的・効果的な運営の観点から、一部業務委託に向け、委託可能な業務の整理を行う。
実績	留守家庭児童会室営繕業務は、日常運営で出てくる修繕等について、緊急性が高いものも含め、状況を判断しながら迅速に対応するとともに、委託可能な業務の整理についても取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効果的・効率的な運営を図るため、管理運営体制の一元化を進める。
実績	平成31年4月に市内のスポーツ施設が指定管理の更新となるため、スポーツ施設の管理運営の一元化に向けて土木部と検討会議を開き、使用料や免除規定など条例改正の内容等について共有化を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

（2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
ノー残業デーの徹底	社会教育部では、職員の健康管理等の観点から、毎週水曜日のノー残業デーの徹底を図る。
実績	「ノー残業デー実施シート」を活用したノー残業デーの推進を図り、事務の適正な執行管理に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業・留守家庭児童会室建替えに国庫補助金・府補助金の活用を図ります。(5件 6540万6000円)

実績	文化財保存事業で5件5650万7000円、留守家庭児童会室建替えで5件1億9738万2000円の活用を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆香里ヶ丘図書館の建替えにあたり、国の交付金の活用を前提に検討を進めます。

実績	香里ヶ丘図書館建替え事業に社会資本整備総合交付金(国費)を活用するため、関係課と調整のうえ、交付金申請を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政、留守家庭児童の保育など、各分野の職員が日常業務を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術を習得し、資質の向上を図ります。また、質の高い市民サービスを提供するため、職員研修を実施するなど人材育成に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none">・6月に文化財担当者専門研修「古文書歴史資料調査基礎課程」に参加するなど知識の共有に努めました。・留守家庭児童会室職員の専門性向上のため、年10回の職員研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆社会教育事業において、知識・情報を必要としている市民に事業の開催に係る情報がより届くよう、さまざまな媒体を使って広報に努めます。

実績	広報ひらかたや市ホームページだけでなく、生涯学習市民センターなど各施設にチラシを配架し、地域情報誌に掲載依頼を行うなど広報に努めるとともに、その講座等に関連のある関係部署との連携による情報提供や、枚方市PTA協議会等の関係団体に情報提供するなど、必要な方に情報が行き届くようにしました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

◆子どもに本を届ける事業の意義や仕組み等について、さまざまな媒体を使って広報に努めます。

実績	枚方市ふるさと寄附金の対象事業とするだけでなく、チラシ等の配布など、広報に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】